

No.	提案元部会 ↓ 提案先部会	提案内容	企画部会における意見
1	産業振興部会 ↓ ふるさと定着回帰部会 未来を拓く人づくり部会	産業人材を確保するため、中学生に対して、地元 の企業を知る機会や仕事への意識付けができる場を より多く提供できるよう、県が主体となって取り組 んでいくべきではないか。  (また、発達段階に応じたキャリア教育として小学 校などの早い段階から産業教育を行うことも重要で はないか。) ※キャリア教育は未来を拓く人づくり 部会の所管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の就職活動の形について、他の地域の状況なども調査しながら検討してみたい。教員の負担が増えないよう、民間企業の力を活用する余地がないかどうかも含めて考えるべきではないか。(須田部会長)</li> <li>・ 家庭での教育の中で、会計やお金のことについて学ぶこともできるのではないか。(須田部会長)</li> <li>・ 地域との連携によるキャリア教育という項目を提言に盛り込みたいと考えていたが、内容については更に深掘りしていきたい。(林部会長)</li> </ul>
2	ふるさと定着回帰部会 産業振興部会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材確保に関する取組については、定着回帰部会と産業振興部会で情報を共有しながら提言のとりまとめを進めていきたい。(須田部会長)</li> <li>・ 県内では人材確保に苦慮している企業が多いが、採用担当者を配置できない企業がほとんどである。採用に困難を抱えている企業をサポートするような体制について考えていく必要があるのではないか。(佐野部会長)</li> </ul>
3	ふるさと定着回帰部会 産業振興部会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不妊治療を理由として離職してしまう方も全国的には多くいる。国において保険適用の検討が進んでいるが、例えば、県が自己負担分への助成を行い、企業側も安心して不妊治療を受けられる職場環境づくりを促進する、といった形で官民一体の「秋田モデル」のような仕組みづくりを進めるべきではないか。(佐野部会長)</li> <li>・ 不妊治療に関しては、育休や産休と同じように両立支援という考え方に立って支援策を考えていくべきである。(小玉部会長)</li> </ul>

【その他】参考意見

- ・ 選択・集中プロジェクトと各施策の対応関係をマトリックスにするなど、公表する際には分かりやすい形で取りまとめてほしい。(佐野部会長)
- ・ 中小企業においては代表者がリクルーターとしてその企業の強みなどをアピールしていくことが重要である。(三浦部会長)
- ・ 県内の中でも地域によって賃金水準に差がある。特に賃金水準が低いような地域で賃金を上げていくような集中的な支援というのも考えられるのではないか。(須田部会長)